

課題研究ルーブリック(文型)教員用

評価の基準	目標達成度	3年生			
		2年生			
	1年生				
具体的特徴	1年当初に概ね生徒が到達しているレベル	2年生前期に到達して欲しいレベル	2年生後期～3年前期に到達して欲しいレベル	実力があると考えられるレベル	
	教員が多くの支援を行って初めて探究が行える	教員の支援で探究活動を遂行できる	教員の支援で概ね自律的に探究活動を行える	教員の最低限度の支援で自律的に探究活動が行える	
観点/評定	1	2	3	県内大会参加	
探究課題と仮説	課題の設定が表面的で恣意的であり、仮説を立てられない。	教員の支援をうけて課題を設定し、課題に対する自分なりの仮説を立てている。	自ら課題を設定し、課題に対する自分なりの仮説を立てている。	社会的に重要な課題を設定し、先行研究を踏まえて課題の意義を明確化している。	
資料収集の計画と実施	教員が勧めた概説書を読むのみで、自発的に文献を収集できない。資料・データの収集に不備がある。	教員の勧めで文献を収集している。資料・データ収集の計画・実施に一貫性が見られない。	より専門的な文献を収集し、先行研究等で挙げられる情報や枠組みを参考に、調査を計画・実施している。	先行研究や文献を収集し、そこに挙げられる文献や調査法を参考に、より多くの資料・データを収集するための、高校生なりに創造性のある調査を計画・実施している。	
資料の分析	資料・データから必要な部分を選択できない。資料の読解が単なる読書程度で、解釈に恣意的な点が見られ、妥当性に欠けている。	資料・データの精選が恣意的である。教員の援助で資料等を解釈するが、結論を見据えた解釈を生み出せない。教員の指示で、収集した資料等を表現している。	必要な資料・データを精選し分析を行っている。また得られた資料等を課題に応じ、結論を意識して、適切な図に表している。	必要な資料・データを精選し先行研究を踏まえて自律的に分析を行っている。また得られた資料等を適切な図表に表し、それを活かして自らの解釈の妥当性を検証している。	
論理的な文章の構成	主張や根拠の結びつきに誤りを含んでいたり、論理が飛躍することがある。主張が恣意的なものになっており、信頼を得にくい。	概ね正しい主張や証拠を含んでいるが、考察が曖昧で論理性を欠くところがある。教員の指示をもとに論拠のある主張を形成している。	教員の助言のもとで研究結果に基づいて、概ね論理的かつ客観的に考察を構成し、自らの主張を行っている。	研究の結果に基づき、客観的多面的な考察を行っている。主張を裏付ける根拠を明確に持って、自らの考察を深め、一貫性のある主張を形成している。	
研究成果の発表	発表の際に、必要なことを伝えず、研究の概要を羅列的に説明する。聞き手を想定せず、適切な答えを返すことができない。	研究全体を通して明らかになったことを発表している。発表全体を通して補うべき情報が不足する。聞き手の質問に対して応答できるが、曖昧さが残る。	研究全体を通して明らかになったことを発表している。聞き手を意識する工夫が見られ、質問に対して概ね適切に答えている。	研究の結果から発表に必要な要素を取捨選択し、研究成果を適切に説明している。聞き手を意識し、他者の意見から学び自分の意見を修正したり論拠をもとに反論できる。	

課題研究ルーブリック(理型)教員用

評価の基準	目標達成度	3年生			
		2年生			
	1年生				
具体的特徴	1年当初に概ね生徒が到達しているレベル	2年生前期に到達して欲しいレベル	2年生後期～3年前期に到達して欲しいレベル	実力があると考えられるレベル	
	教員が多くの支援を行って初めて探究が行える	教員の支援で探究活動を遂行できる	教員の支援で概ね自律的に探究活動を行える	教員の最低限度の支援で自律的に探究活動が行える	
観点/評定	1	2	3	県内大会参加	
探究課題と仮説	課題の設定が表面的で恣意的であり、仮説を立てられない。	教員の支援をうけて課題を設定し、課題に対する自分なりの仮説を立てている。	自ら課題を設定し、課題に対する自分なりの仮説を立てている。	社会・科学的な問題と関連性があり、先行研究を踏まえて課題の意義を明確化している。	
研究の計画・実施	教員に示された研究計画に沿って研究を行う。研究の実行において不備が見受けられる。	教員の助言のもとに、仮説を検証できるような研究の方法を考え、計画を立て、実施している。	設定した仮説に対応する研究の方法を自ら考え、計画を立て、実施している。	高校生なりに工夫した研究方法を自ら考え、信頼性や精度のより高い検証法を考え、実施している。	
データの解釈(処理)	得られたデータや資料をどのように処理して良いのかわからない。適切なグラフや表を選択できていない。	教員の指示のもとに得られたデータや資料をグラフや表などを用いて表している。	データや資料の種類や調査の目的に応じて、得られたデータ等を適切なグラフや表に表している。	データや資料の種類や調査の目的に応じて、得られたデータ等を適切なグラフや表に表し、多角的に解釈しデータの妥当性を検証している。	
説明の構成	主張や証拠の結びつきに誤りを含んでいたり、構成した主張や証拠に誤りがある。そのため主張が恣意的なものになり信頼を得にくい。	概ね正しい主張や証拠を含んでいるが、論理性を欠くところがある。教員の指示のもとに論拠のある主張を形成している。	教員の助言のもとで研究結果に基づく自分の主張とそれを裏付ける証拠を含んだ論理的かつ客観的な考察を構成している。	研究の結果に基づき、課題に対する客観的多面的な考察を行っている。自分の主張を裏付ける証拠を選び、論理的に主張を形成している。	
研究成果の発表	発表の際に、必要なことを伝えず、研究の内容を羅列的に説明する。聞き手を想定せず、適切な答えを返すことができない。	研究全体を通して明らかになったことを発表している。発表全体を通して補うべき情報が不足する。聞き手の質問に対して応答できるが、曖昧さが残る。	研究全体を通して明らかになったことを発表している。聞き手を意識する工夫が見られ、質問に対して概ね適切に答えている。	研究の結果から発表に必要な要素を取捨選択し、研究成果を適切に説明している。聞き手を意識し、他者の意見から学び自分の意見を修正したり論拠をもとに反論できる。	